

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

9月	
1(金)	◎敬老の日に先立ち、市長が100歳以上の高齢者2人を訪問し長寿を祝福 ◎大震災復興基金 被災者の融資制度等24事業の受付開始
3(日)	◎「宝塚薪能」が市民会館で夜に開催
4(月)	◎業者選定委員会が宝塚駅前(花のみち周辺)地区第二種市街地再開発事業の施設建築物の設計者を特定 ◎平成7年度補正予算を発表。震災関連は総額136億7,900万円で、平成6、平成7年度の震災予算は計534億円となった。 ◎平成6年度の決算概要を発表。18年連続の黒字となったが、震災の影響で歳入、歳出とも伸び率が1%にとどまる。歳入761億1,000万円、歳出735億円、うち震災関連は約55億円
5(火)	◎市議会震災復興対策特別委員会で、市の震災復興計画の概要を発表 計画は平成17年度までの10年間で159事業3,059億円を見込む。 ◎首相の諮問機関「阪神・淡路復興委員会」が震災復興にあたっての「長期ビジョンについての意見」をとりまとめ、村山首相に提出
6(水)	◎「心のふれあう市民の集い」が市民会館で開催
7(木)	◎被災した木造家屋の解体処理が9月末日で修了する見込みで、10月13日で市内2箇所の仮置き場を閉鎖すると発表 解体申し込み 約5,700件、95%が処理済 運びこまれた廃材 トラック延べ10万6,000台、総量約48万トン
8(金)	◎平成7年第4回宝塚市議会定例会が開会
9(土)	◎宝塚青年会議所がソリオホールで「復興支援・創立30周年記念講演」を開催
11(月)	◎定例市議会本会議で、市は固定資産税と市県民税の納期を平成9年から地方税法の標準納期に戻す方針を表明
14(木)	◎市議会総務常任委員会で被災マンションの再建支援事業の概要を公表
18(月)	◎公共工事の業者選定基準を変更。「一般競争入札」をしていた大規模工事のうち、阪神・淡路大震災などの緊急工事については入札参加の企業をあらかじめ選ぶ「指名競争入札」とするなどを決める。
20(水)	◎震災で倒壊した家屋などから歴史資料を救出・保全している「歴史資料保全情報ネットワーク」は、米谷1の旧家から江戸時代の古文書2,753点見つかったと発表
22(金)	◎震災復旧工事入札でのボランティア企業優先指名を中止すると発表
26(火)	◎東京都府中市の小・中学生らの激励の手紙465通が宝塚小学校に届く。
28(木)	◎防災啓発冊子「地震に自信を」市内全世帯に配布(～10月末)
29(金)	◎阪急バスが川西市南野坂の仮設住宅(270戸)と市内雲雀丘の仮設住宅(172戸)の住民向けに、路線バスの運行を開始